

宮前区
おだ かつひさ
織田 勝久
(民主党)



■ 中央卸売市場北部市場

◎ 廃発泡スチロール処理費用の見直しを、法に基づく排出者責任の原則が不適正な現状の改善のため、決断する時では。

▲ 見直す必要を認識している。費用負担について検討し、適正化を図りたい。

■ 特別な支援が必要な生徒の進路

◎ 知的障害はないが、通常の学級では十分に対応できない発達障害などの生徒の進学先の支援のない現状への対応は。

▲ 生徒の進路については大切な課題として認識している。県とも連携して研究を進めていきたい。

川崎区
いわさき よしゆき
岩崎 善幸
(公明党)



■ 公共施設の空中権(★7)

◎ 容積率の有効活用のため、空中権の活用を検討しては。

▲ 有効な事業手法の一つだが施設の設置目的、将来的な活用方策への影響、移転で発生する権利関係などの課題があるため、これらを踏まえて検討していきたい。

■ ICT(★8)の利活用

◎ 連携協力の覚書を結んだインテル(株)と協力し導入する教師向けの取り組みは。

▲ モデルケースとして、26年4月に開校する川崎高等学校附属中学校で研究教員を対象に研修プログラムを導入する。



市立中学校でのパソコンを使用した授業の様子

川崎区
さの よしあき
佐野 仁昭
(共産党)



■ 県立川崎図書館

◎ 大切な図書館の維持・存続に向け、市は県に対して、どう求めてきたのか。

▲ 県の予算編成に対する要望書などで、県による市内での産業情報機能などの機能存続を申し入れてきた。



産業情報コーナー

■ 防災行動ガイドの改訂

◎ 障害者本人向け、家族向けと分けて作成するなど具体的な内容に改めは。

▲ 25年度は障害者の特性や本人・家族の視点などを含め、より分かりやすく具体的な内容とするため、関係団体などの意見を伺いつつ、改訂していきたい。

中原区
まつかわ しゅうじろう
松川 正二郎
(みんなの党)



■ 市管理のエスカレーター

◎ 22時以降は停止しているが、通行量な

どを調査し、時間延長の対応をしては。

▲ 電力需給対策のため時間を短縮し運転しているが、今後は電力需給や利用状況などを踏まえ、検討していきたい。

■ J R 南武線連続立体交差事業

◎ 武蔵小杉駅の立体化に向けた考え方は。

▲ J R 南武線の上を東海道新幹線・横須賀線・東急東横線・綱島街道が立体交差しており、高架化は構造上困難なため、地上駅として立体交差化を推進するものとした。

川崎区
しまぎき よしお
嶋崎 嘉夫
(自民党)



■ 介護保険制度の認定審査

◎ 24年度は平均36.5日を審査に要している。審査を早めるべきでは。

▲ 認定調査員の増員と介護認定審査を49の合議体へ増設し改善を図っている。今後も関係機関と協議を重ねるなど効果的な審査判定の仕組みを検討していきたい。

■ わたしの町のすこやか活動支援事業

◎ 活動を広げるために、ルールを柔軟に活用することも必要と考えるが、見解は。

▲ 有識者や地域で活動する方の意見も伺いつつ、誰もが生き生きと暮らせる市民都市川崎を目指して市政運営を行いたい。

中原区
ひがし まさのり
東 正則
(民主党)



■ ニヶ領用水総合基本計画

◎ 「歴史文化をつなぐ施策」と「記憶をつなぐ整備」の具体的な内容は。

▲ 25年度はホームページを創設し、計画の普及・啓発を行い、渋川との分岐点周辺で自然の多様性に考慮した整備を行う。



ニヶ領用水

■ 障害者(精神障害者)の就労支援

◎ 就労支援事業再編の方向性や体制は。

▲ 市内3カ所の就労援助センターで対応する方針とした。28年度以降の社会参加支援センターの廃止に向け、利用者を就労援助センターなどに的確に引き継ぎ、就労支援機能の強化を図りたい。

麻生区
はなわ こういち
花輪 孝一
(公明党)



■ 児童公園(街区公園)の再整備

◎ 設備が老朽化し利用されずに放置されている公園の実態を調査し、市民との協働でリフレッシュを図るべきだが対応は。

▲ 利用状況やニーズの把握に努め、地域に愛される公園の整備や維持管理に取り組んでいきたい。



■ 県保健医療計画

◎ 高津・宮前・多摩・麻生の各区の川崎

北部保健医療圏での病床数が183床不足しているとのことだが、見解は。

▲ 今後、地域医療審議会などの意見を伺いながら、的確に対応していきたい。

川崎区
ためや よしたか
為谷 義隆
(みんなの党)



■ 市政でのICT(★8)の活用

◎ オンラインネットワークを活用して意見を出し合う手法は、人口が増加傾向にあり、多様な市民が活動する市のまじづくりに有効と考えるが取り組みは。

▲ 他都市の事例なども参考にしつつ手法や効果・課題などを検討していきたい。

■ 東扇島へのアクセス

◎ イベント開催時に運河や多摩川河口の水路を利用した交通手段を検討しては。

▲ 現在、川崎港では小型船の船着き場となり得る候補地の調査を実施しており、立地の可能性を検討している。



東扇島東公園(川崎区)

高津区
おshima あきら
大島 明
(自民党)



■ たばこ税の歳入と分煙対策

◎ 99億円余の一般財源の確保と受動喫煙防止対策の推進のため、公共施設での分煙対策を進めるべきだが取り組みは。

▲ 喫煙所設置への県の融資制度を含む県条例の周知と啓発活動を実施していく。

■ ビーチバレー場の拡充

◎ 川崎マリエンのビーチバレーコート拡充整備に至る経緯と整備状況は。

▲ 学生の大会など利用者の増加への対応から、コート数を増やすための改修工事を行っており、25年7月末から市民の利用が可能となるよう整備を進めていく。



25年7月から4面になったビーチバレー場(川崎区東扇島)

高津区
ごとう しゅういち
後藤 晶一
(公明党)



■ 要援護者支援制度への登録者拡充

◎ 災害時に自ら避難できない全ての要援護者が対象となるべきだが、見解は。

▲ 登録の意思が不明確な対象者も支援につなげられるよう、関係団体とも協議しつつ情報の取り扱いを検討していきたい。

■ 子母口小学校仮設校舎への通学路

◎ 市道蟹ヶ谷40号線と21号線の交差点で安全対策を実施すべきだが、取り組みは。

▲ 近隣の開発工事の事業者と協議、調整を図りつつ、関係局や交通管理者と連携し、カーブミラーなどの設置や交通規制を早急に検討していきたい。

議長・副議長の
主な出席行事
(25年4月~7月)

● 25年4月

4日(木) 平成25年度川崎市立看護短期大学入学式

7日(日) ミューザ川崎シンフォニーホールリニューアルコンサート及びレセプション

23日(火) 平成25年度川崎市自主防災組織連絡協議会総会

● 25年5月

21日(火) 第65回川崎市民生委員児童委員大会

26日(日) 第66回川崎市視覚障害者福祉協会定期総会

● 25年6月

5日(水) 平成25年度川崎市環境功労者表彰式

15日(土) (公財)川崎市スポーツ協会表彰式
川崎市中央療育センター内覧会

● 25年7月

9日(火) 第53回川崎市全町内会連合会定期総会

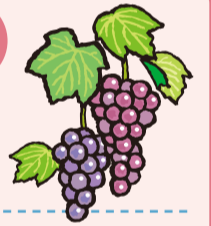
31日(水) 平成25年度川崎市交通安全対策協議会総会

このほか、各種行事に出席しています。



議長・副議長就任記者会見の様子
浅野 文直議長(左)・飯塚 正良副議長(右)

用語の
解説



P6

★4 ファブラボ

Fabrication Laboratoryの略で、個人による自由なものづくりの可能性を広げるための実験工房のことです。

★5 TPP

環太平洋連携協定(Trans-Pacific Partnership)の略で、原則として全品目の関税を撤廃するとされています。

★6 SNS

Social Networking Service の略で、人同士のつながりを電子化するサービスのことです。

P7

★7 空中権

都市計画で定められた容積率のうち、未使用のものを他の土地に移転する権利です。最近では東京駅が未使用の容積率を周辺ビルに売却し、復元改修費用を捻出したことで話題になりました。

★8 ICT

Information and Communication Technologyの略で、情報・通信に関連する技術一般の総称のことです。

お知らせ

次の定例会は9月2日(月)から開かれ、主に平成24年度決算などを審議する予定です。詳細はホームページをご覧ください。